

平成28年度「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月12日（木）午後7時～午後8時55分
□会 場	宮津団地老人憩の家
□参加者	町側9人、地区側27人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

3. 懇談会テーマと質問事項等の主旨要約

①高齢者と地域のつながり

配布資料に基づき民生部長説明。

内容は同趣旨のため省略（5月10日（火）宮津公民館参照）

質問（1）私たちが、小地域福祉活動を始めて5年が経過しました。良かったことを紹介します。地域福祉計画の会議でも述べたが、包括支援センターの保健師さんがサロンの中で血圧測定をしてくれ、福祉何でも相談を受け付けています。相談は昨年度については7件ありました。特に血圧測定は人気があり、毎回10人前後が利用しています。保健師さんと話せる上、健康についてアドバイスをしてくれることが良いです。しかし、白沢台のサロンと日程がぶつかった日に、先に白沢台、後で宮津団地の順番で、保健師さんがはしごすることがありました。結局来るのが遅くなって、3人ぐらいしか血圧測定ができませんでした。そのようなときには、行政が何かしら手を打ってほしいと思います。

訪問活動をしていて良かったことは、サロンに顔を出さなくなった人のところへ行き、サロンに行かない理由を聞いたところ、転ぶのが怖いからということでした。家をよく見ると手すりも何も付いていないので、包括支援センターに相談したら、業者さんを紹介してもらって、風呂場や玄関、トイレに手すりを付けることができ、非常に喜んでもらえました。そういう事例もあるので、各地区で友愛活動や小地域福祉活動が増えると良いと思いますし、そうなるように行政の配慮をお願いしたいです。（宮津団地）

答）今後、サロン活動が増えると思いますが、日程調整などが必要となります。保健師がサロンに行って、話をしながら血圧を測るのはいいことです。包括支援センターと相談して、これからも顔の見える活動を続けていきたいと思います。サロンに来る人はまだいいです。目の届かない、来られない人の方が心配です。そういった人のために、訪問活動が始まったと思いますので、サロン活動と訪問活動の両方やっている地区は素晴らしいと思います。良い事例をありがとうございます。（民生部長）

質問（2）高齢者になるとみんなが集まるサロンに力が入る。私としては、高齢者がもつ

と働ける場所を提供してほしいです。長年勤めてきた人たちは、特技や腕がある。そういうのを募って子どもたちに教えるとか、年をとっても特技を発揮、活かせる場所を作ってほしいです。サロンもいいですが、自分の特技を発揮できる場所づくりをお願いしたいです。(宮津山田)

答) 私も、皆さんの若い頃から培った技術、特技を披露する場があると、それが生きがいにつながるのではないかと思います。いろいろな団体と協議して、そのような場を作れるように考えていきたいです。

宮津山田、宮津団地さんは、昔からしっかりと活動をされています。そんな皆さんでも、きっと後継者不足という課題や困りごとはないでしょうか。活動が始まってから、担い手の入れ替わり、上手に世代交代ができているでしょうか。支援者が支援される側に回り、支援者が減ってしまっているようなことはないですか。(民生部長)

意見) いきいきクラブ連合会に関わっています。サロン活動でコーヒーを飲んだり話したり楽しい雰囲気です。連合会の中でもぜひ、全地区でサロンを実施してほしいと言っています。人が集まれば必ず情報も集まります。あの人元気がない、具合が悪い、という情報が入ってくる。元気がない情報が入れば、次は訪問しますよね。そういう発想になります。是非、活動を普及するために町が主導してほしいです。担い手については山田の達者会でもお手伝いする人、次やってくれる人を選ぶのが大変です。手を挙げる人がいないので、お願いしかなくなります。そういった意味でやはり、後継者選びは難しいです。(宮津山田)

答) 皆さんはサロン活動のイメージが湧くと思いますが、どうやるかを分からない地区もあります。これから私たちは、全町回るので、活動していない地域の方にサロン活動が良いことを認識してもらうよう伝えていきます。立ち上げようという地区があれば、現場に行って情報提供などをして、町と社会福祉協議会で力を貸せるようにします。(民生部長)

質問(3) 話は違いますが、町長が地震について話していましたが、私たち宮津団地の人はどこに、そして宮津山田はどこに避難すれば良いか分かりません。町ではっきりしてほしいです。今後、大きな体育館の建設もお願いしたいです。(宮津団地)

答) 以前配布した防災マップに避難所が載っています。この地区ですと、東部小学校、陽なたの丘集会所、宮津保育園、宮津公民館と4つの避難所が載っています。団地や山田の方からすると、ふれあいの森の体育室もあります。(民生部長)

意見) 東部小学校に行くまでに死にます。保育園では狭い。この地区は人口が増え、人口が多いから、もう少し避難所を充実させてほしいです。地図を見ていない人もたくさんいるからその辺りをしっかり周知してほしいです。(宮津団地)

質問(4) 徘徊老人が増えることについて心配しています。そういう人にGPSを付けて

監視をしてはどうですか。そういうシステムはないのですか。(宮津山田)

答) 福祉サービスにGPSを貸し出すサービスがあります。取り付ける場所によっては本人が外してしまいます。徘徊を確認できるように今年度事業で靴に貼る番号入りのシールを作る予定をしています。(民生部長)

②ゴミの減量について

配布資料に基づき建設経済部長説明。

内容は同趣旨のため省略(5月10日(火)宮津公民館参照)

質問(1) 廃プラはどのように処理していますか。聞いたところによると分別をしても、最後は燃やしているようで、分別している方としては残念です。どう処理しているのか教えてください。(宮津山田)

答) 最後には燃やしています。しかし、新日鉄などが燃料の足しにするので、廃プラは買ってもらった上で、燃やして処分してもらっています。廃プラが増えると買ってもらえるゴミが増えるのでありがたいです。誤解している方もいるのでしっかりPRしていきます。(建設経済部長)

質問(2) 近隣市町の状況を見ると、市町で相当、量に違いがあります。多いところは南知多町がおよそ700グラム、少ないところは常滑市が440グラム。何か理由があると思います。例えば人口の構成比、袋の値段とか、原因をつかんでいれば、教えてください(宮津団地)

答) 443グラムとゴミが少ない常滑市ですが、一目瞭然で10枚当たりのゴミ袋の値段が500円と高いです。500円は平成24年の10月からスタートしました。それまで常滑市は650グラムぐらいでした。平成24年の1年で100グラム減って550グラムぐらい、それからどんどん減らして、今は443グラムです。平成27年は少し増えていると聞いていますが、それでも450グラムぐらいです。次に少ない東海市は474グラムです。ゴミ袋の値段は、1,100円と書いてあります。購入すると高いですが、1年間の使用量を試算して事前にゴミ袋を無料配布し、ゴミを減らして使わないようにすれば安く済むというようになっています。無料分を使い切って、新しく買おうとすると1,100円かかるということです。1,100円で買わなくて済むように、ゴミをどんどん減らしているという状況です。南知多町、美浜町は地域事情もあるのでしょうか。旅館が多いのでひょっとするとそういったところのゴミが入っているのではないのでしょうか。何とも言えませんが、地域事情だと思います。(建設経済部長)

意見) 私の個人的見解では、人間横着な生き物ですから、経済的な制裁を少し与えないとやりません。住民サービスに逆行するが、ゴミ袋の値上げが良いのではと思います。(宮津山田)

答) 毎月1日号の広報に、先々月の可燃ゴミの排出量を載せています。ただ数字だけ載せるのではなく、燃えるゴミを減らすためのポイントも併せて掲載しています。参考にしてください。(建設経済部長)

質問(3) 廃プラのことですが、私は、醤油やジュースがなくなるときれいに洗って出しています。燃やすのであれば、洗わなくても良いのでしょうか。リサイクルされると思いきれいにしていましたが、燃やしてしまうのであれば、洗わなくても良いと思うのですが。(宮津団地)

意見) 私も少しでも汚れていれば、もうダメだと思いきれい可燃ゴミとして出しています。(宮津団地)

答) 町としてはきれいにしてほしいとお願いしています。535グラムを少しでも減らすには、多少汚れていても、廃プラでお願いしたいです。(建設経済部長)

意見) 朝、ゴミ捨てに行くと、可燃ゴミの中にペットボトルやプラゴミなどが入っていて、分別されていない状況を見かけます。5,534トンのうち、5%ぐらいはそういったものが入っているのではないかと思います。プラゴミを上手に分別して出すようにすれば良いと思います。今、燃料にするという話でしたが、醤油やジュースが付いているものは不純物が出ます。そういったものは新日鉄はいりません。きれいに洗って乾燥させているものであれば、燃やしたときに不純物が出ないので高く買ってもらえます。だからきれいに洗うべきです。新日鉄の溶鉱炉をやっている人なら誰でも分かります。ゴミを考えますと、自分が小さい頃はゴミが出ませんでした。野菜や魚は新聞紙で包んで、その新聞紙は風呂を沸かすために燃やす。野菜くずやいわし、サンマの頭も工夫して食べました。そのため、昔はゴミが無かったのに今はすごく多いです。私は、アスパを生ゴミにかけて肥料化するなど、どうすればゴミが減るか自分で考えて工夫し、できることはやっているつもりです。全員そうしてほしいと思っています。今の若い人は知識があるから、しっかり数字を示したらきちんとやってくれるので、そういうことをPRしてほしいと思います。(宮津団地)

答) PRを強化していきます。(建設経済部長)

質問(4) 生ゴミを乾燥させると減るというのは勉強になりました。ゴミ袋を高くすればゴミが減るのも分かりましたが、ゴミ袋が同じくらいの値段のところでも少ないところがあります。豊明市を見るとゴミ袋が同じくらいの値段なのに、阿久比町と比べてゴミが1割近く少ないです。これぐらいで2,000万円から3,000万円くらい処理費用が減るのではないのでしょうか。この違いをどう考えていますか。例えば、生ゴミ処理機は自分も購入を考えたのですが、補助があるなんて知りませんでした。PRが足りないと感じました。自分の家にも小さい庭があり、草取りしたものを次の日捨てに行くと、生ゴミと草が

混ざって捨ててあります。草は生ゴミではないから、一緒に捨てる必要はなく、乾燥させてから出せば良いと思います。そういったことを上手にPRすると良いのではないかと思います。(陽なたの丘)

答) 袋の単価が似ている他市町の動向は調べていません。大字や自治会で草刈り、枝切りしたものは、次の日に燃えるゴミとしてゴミステーションに出ています。町としてはこのようなゴミを減らしていきたいです。乾燥させてもらえると重量が減るのでそうしてほしいですが、そのまま出しているのが現状です。町として公園の管理など自分たちでできることは自分たちで進めることをお願いしていますが、管理で出た草や枝は事業系ゴミとして出すのが本来です。ゴミステーションに出すのではなく、お金を出して事業系ゴミとして直接東部知多クリーンセンターに持って行ってほしいです。また、ゴミゼロによって自分たちで集めてもらったゴミも事業系なので直接東部知多クリーンセンターに持って行ってもらうとありがたいです。特に、草に関しては、そのままステーションに出している地区もあります。枯らしてから出すようにする、公園に山積みにして土にもどるまで待つとか、何とか工夫してほしいと思います。そうすると個人のゴミの量が減ると考えています。(建設経済部長)

意見) 畑から出る草、家庭から出る草は水分が多いから、畑に持って行ってから燃やすと消防署が来るというのが現状です。広報で野焼きがダメというのがマイナスに働いていると思います。逆の発想で、私は畑に積んでおいて、時間・日にち・風を見ながら燃やせば良いのではないかと思います。許されるなら、常識判断でやらしてほしいです。そうすれば、洗濯物を干さない時間を設けるなど工夫して、少々のご事は許していいのではないのでしょうか。(宮津山田)

答) 私の家では草刈りをした草は、どんどん山積みになっています。10月末まで、毎月山積みになっていますが、時間が経つとどんどん減っていきます。夏は水分が蒸発して、下の方は虫が食べて土になります。山積みにしても、どんどん山にならずに、高さは変わりません。燃やさなくても大丈夫です。公園の草は自分の家に持って帰れないですね。そのようなことを公園でやる場合は、目をつぶるので、皆さんでやってみてください。(建設経済部長)

提案) 刈った草は水分が85%。そのままでは絶対燃えません。3、4日で5分の1になるので、しっかり乾燥させることが大切です。東部学区の野球コーチをしていて、グラウンドの草刈りしたものを草積み場に積み上げると、1週間で発酵してどんどん量が減ります。数カ月経つとカブトムシが卵を産むくらい良い土になる。除草剤を使わない安全で良い堆肥なので、農家の方がトラックで持って行きます。刈った草を積み、肥料にして農家の人に分けると良いです。できない場合は、しっかり乾燥させるようにしたらよいと思います。(宮津団地)

意見) この2億ほどの処理費用は知恵を出すと半分になると思います。袋の高額化を前提にして、町として、ゴミ減量のためにこういう施策をしていくというものをしっかりと打

ち出してほしいです。生ゴミ、プラゴミの分別を100%徹底させることが大切ではないでしょうか。そうしないと袋代だけ上げてても効果が低いです。野焼きのことも含め、対策を町で練って提示してほしいです。分別の判断基準とかも含めてしっかりしたものをお願いしたいです。問題提起とさせていただきます。(宮津団地)

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問(1) 富士塚の調整池の浚渫(しゅんせつ)の依頼に対して、平成27度にやると返事をもらいましたが、一年たっても進んでいません。ぜひ計画を立てて進めてください。今の環境では、草が生え、環境や防災の問題に絡んできません。前回、建設環境課に行って確認したところ、サークルKの横の池は計画に入っていると聞きました。前にお願ひしたところが予定に入っていないので、ぜひやってもらいたいです。(宮津団地)

答) Mさんの北の調整池ですね。昨年の未来づくりの時に「草を刈りましたよ、ありがとう」という話で、団地は2つ池あるから、2つやってほしいという話だったと思います。区画整理の方をやったらMさんの北の方もやってほしいという話が出てきたと記憶しています。(建設経済部長)

意見) 自治会としては浚渫(しゅんせつ)をお願いしていました。(宮津団地)

答) 浚渫(しゅんせつ)に関しては基本的に下に蛇籠(じゃかご)があるので、あれ以上は掘れません。また、排水の入ってくる場所と出てくる場所の高さに差がないということで、草を生えなくする方法は、コンクリートベタ打ちしかないという状況です。浚渫(しゅんせつ)の話は、サークルKの池も何度もやってほしいという話があったので予算を付けました。ただ、西の調整池は葦なので、刈っても一年経てば元に戻ってしまうので、「そのへんは良い方法を考えているところです」という答えをしたつもりです。(建設経済部長)

意見) 毎年同じことですよね。火災が起きたときに2件の家が危ないです。冬場に北風が吹いたときに近所の2軒の家が本当に火事になります。虫の発生でも困っています。そういうことも含め、平成25年度に文書で浚渫(しゅんせつ)をお願いしました。そこから26年度、27年度、28年度と過ぎていて、これはないと思います。(宮津団地)

答) 草刈りと周りの整備を26年度にやらせていただきました。(建設経済部長)

意見) 草刈りではなく、浚渫(しゅんせつ)を文書でお願いしたのです。(宮津団地)

答) 蛇籠(じゃかご)があるのは知っています。その上に40、50センチぐらいヘドロがあって、葦が生える環境ができてしまっています。葦は蛇籠(じゃかご)の下から生え

ているので、葦を止める方法はコンクリートベタ打ちしかありません。浚渫（しゅんせつ）すると、蛇籠（じゃかご）を外さないといけません。（建設経済部長）

意見）役場は貯水量の面で問題があると言うけれど、ヘドロの分、貯水量は減っています。あの池は洪水調整池だからこそ浚渫（しゅんせつ）は必要。ヘドロがたまればその都度やっってもらうのが筋だと思います。（宮津団地）

答）工法等を含めて検討中です。どのくらいの蛇籠が下にあるか分からないから難しいです。蛇籠（じゃかご）の中にも葦の根が入っているか分かりません。全部蛇籠（じゃかご）を取って打ち直すという工法は難しいです。今のところ、単純にヘドロを取ってコンクリートベタ打ち方法ぐらいしかないので、もう少し西の池をどうするかについて返答をお待ちいただきたい。（建設経済部長）

意見）また、そういった予定が決まったら連絡してください。（宮津団地）

5. 閉会あいさつ

本日はありがとうございました。今年からテーマを決めて実施させていただきました。この2つのテーマは身近で重要である反面、大変難しい事業でもあります。今後とも行政と地区が連絡を密にし、事業向上に努めてまいりたいと思います。

以上で、平成28年度未来づくり懇談会を終了します。（副町長）